

# KG神奈川ゆる登山の会報告：第51回 三島・山中城跡

開催日：2023年10月21日（土）

参加者（卒年、敬称略）永田淳、川崎耕造、橋本省子、井上信子、松本喜代郎、佐藤義廣、矢野和子、中井義康、森田誠、山田清、柳澤剛、松本邦康、田中康弘（計13名）

今回は、戦国時代末期の1530～1560年頃に、小田原に本城を置いた後北条氏の築城技術を駆使した、石垣を使わない土の山城、「山中城跡」、日本100名城の一つです。

JR三島駅からバスで移動し散策開始。空堀の中に土手状の畝を掘り残して区画し、衝立障子や田畑の畝のように見える「障子堀」「畝堀」はローム層の赤土で滑りやすく、落ち込むと登りにくい作りになっている。

城の範囲は東西500m、南北1,000mに及び、標高は540～580mで、西檜から御殿場・裾野方面、岱崎出丸から伊豆北部、駿東の大半を一望できる。難攻不落にも思えたこの城も、1590年、豊臣軍の総攻撃を受けて半日で落城したと伝えられ、爽やかな秋空のもと、往時を偲びながら歩きまわりました。



次回のお知らせ：  
11月23日（木）  
栃木県支部との合同  
企画で宇都宮・大谷  
資料館（採掘場跡の  
地下巨大空間）を訪  
ねます。地下に入るゆ  
る登山の会です。

